

心理職 平成29年6月25日実施  
専門考査の問題

問1 幼児期前期（1歳～3歳ないし4歳以前）の発達には、どのような特徴があるといえるか。以下の点に触れつつ説明しなさい。

- ・象徴遊び
- ・自己中心性
- ・「自律性」対「恥・疑惑」の段階

問2 下記の文章の(①)～(⑩)にあてはまる語句をそれぞれ解答欄に記入しなさい。

- (1) S.フロイトは、寝椅子を使った「自由(①)法」を創始し、自我・(②)・(③)、という精神の3部分からなる力動的関係などに基づいた治療法を用いた。その治療目標は「(④)の意識化」であり、別の面からいえば、快感原則を現実原則に置き換えることであったといえる。
- (2) 性格検査のうち、質問紙法による代表的なものとして、矢田部=(⑤)性格検査(YG性格検査)やミネソタ多面人格目録(MMPI)、東大式エゴグラム(TEG)などがある。また作業検査法の代表的なものとして、隣り合った数字を加算し続ける連続加算法である内田=(⑥)精神作業検査がある。投影法のひとつとしては、欲求不満を引き起こさせるような場面が描かれている絵カードを用い、登場人物の一人としてどのように反応するかを評定するP-F(⑦)がある。
- (3) ある学習をしたことによって、その後に行う学習が何らかの影響を受けることを「学習の(⑧)」という。前の学習によって後の学習が促進される場合を「(⑨)の(⑧)」といい、妨害される場合を「(⑩)の(⑧)」という。

問3 次の(1)～(4)のうち2つを選択し、それぞれを簡潔に説明しなさい。  
(選択した番号を解答欄の□の中に記入すること。)

- (1) 知覚の恒常性 (恒常現象)
- (2) エンパワメント
- (3) 認知的不協和
- (4) セマンティック・ディファレンシャル法 (SD法)

問4 次の(1)～(3)のうち1つを選択し、解答しなさい。  
(選択した番号を解答欄の□の中に記入すること。)

- (1) トラウマの治療法のうち「持続エクスポージャー療法 (Prolonged Exposure Therapy)」について、PTSD (心的外傷後ストレス障害) にも触れながら説明しなさい。また、この療法の実施における留意点を説明しなさい。
- (2) 障がい児の親の障がい受容の過程に関する下記の語句について説明しなさい。その上で障がい児の親への心理的支援について説明しなさい。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 段階理論</li><li>・ 慢性的悲哀</li><li>・ 螺旋形 (らせんがた) モデル</li></ul> |
|--|

- (3) 攻撃行動の定義を説明しなさい。また、攻撃性に対する3つの主な考え方について説明しなさい。